

2026年7月31日

各 位

株式会社システナ
(東京証券取引所プライム市場 証券コード：2317)

システナ、富士スピードウェイとネーミングライツ契約を締結 - 富士スピードウェイに「システナゴールブリッジ」と「2317コーナー」が誕生 -

株式会社システナ（本社：東京都港区、代表取締役会長：逸見 愛親、以下「当社」）は、富士スピードウェイ株式会社（本社：静岡県駿東郡小山町、代表取締役社長：酒井 良、以下「富士スピードウェイ」）と、ネーミングライツスポンサーとして契約を締結いたしました。

本契約により、2026年8月1日から富士スピードウェイ内のゴールブリッジは「システナゴールブリッジ」、第13コーナーは「2317コーナー」として呼称されます。

【システナゴールブリッジ】



【2317 コーナー】



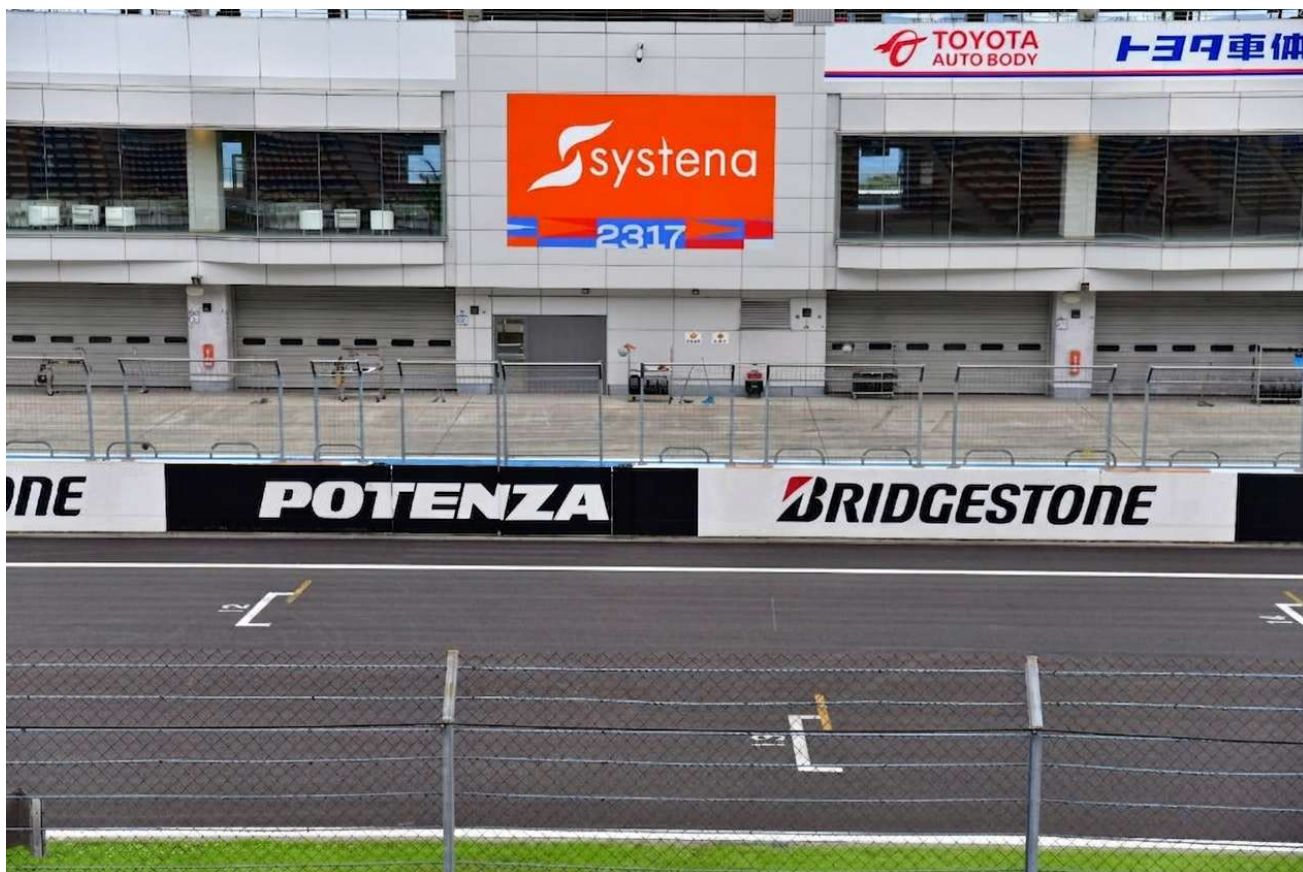
【第1 コーナー】



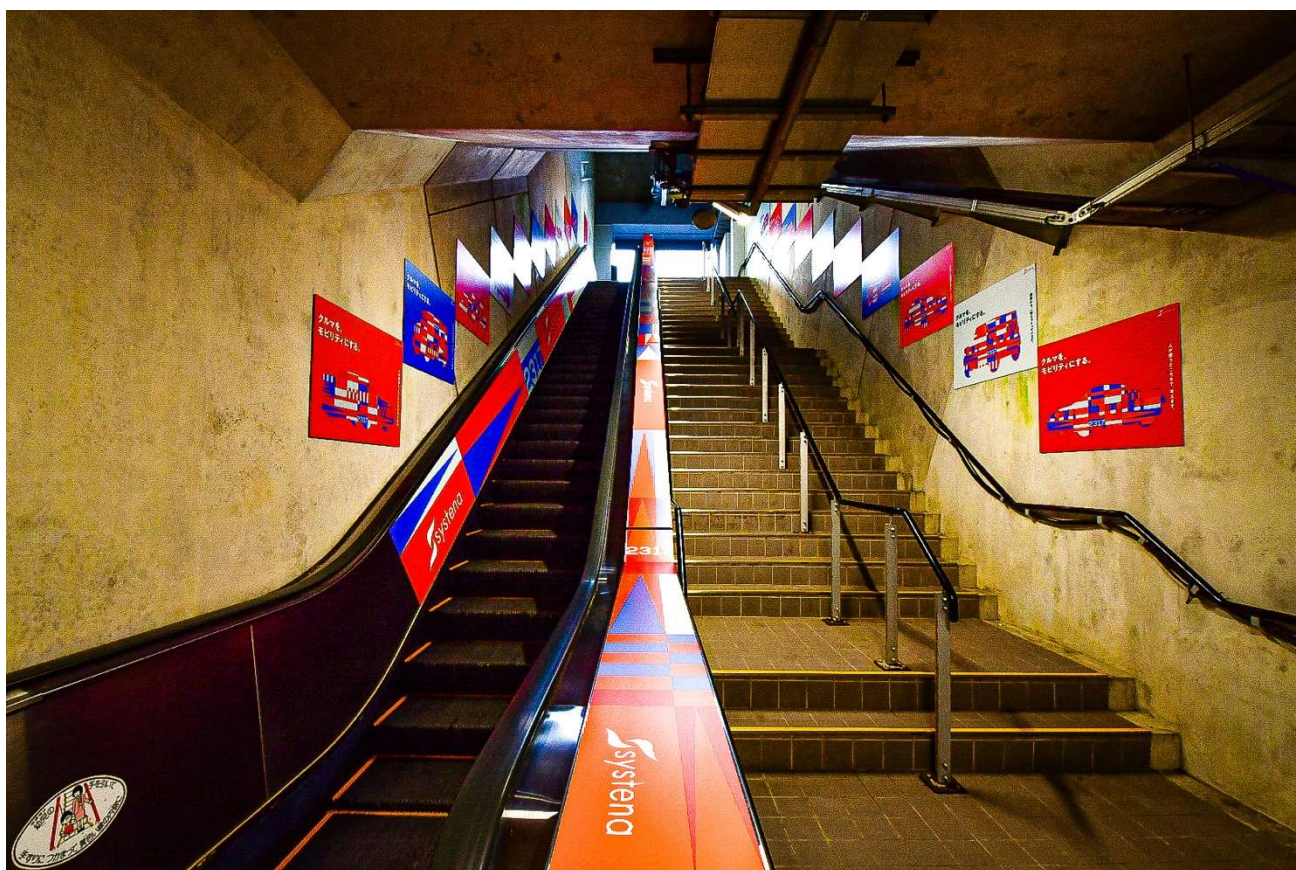
【第3 コーナーブリッジ】



【ピットビルA棟】



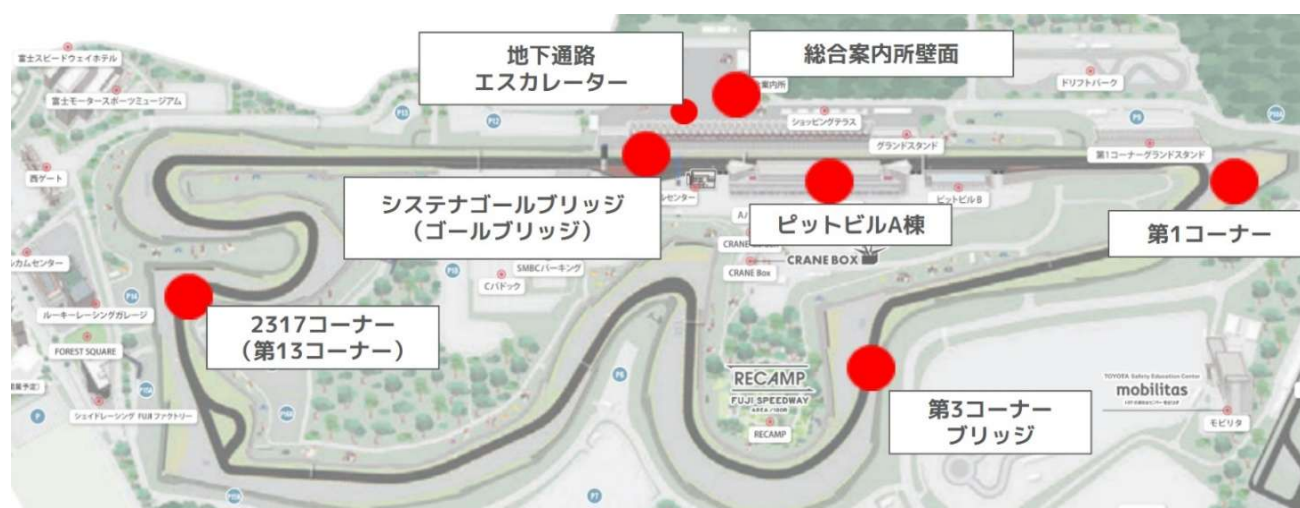
【地下通路エスカレーター】



【総合案内所壁面】



【掲出エリア（全7カ所）】



■ 本契約の背景

自動車産業では、車両の機能や価値をソフトウェアによって継続的に進化させるSDV（Software Defined Vehicle）への移行が進んでいます。当社は、車載ソフトウェア開発、開発基盤、通信技術、クラウドなどの知見を集結し、モビリティ領域における事業を推進してまいりました。

通信・金融など様々な基幹産業で最も大切にされてきた「可用性」と「安全性」を、当社はソフトウェア開発の現場で担ってまいりました。この経験を、安心・安全なモビリティ社会にも活かしてまいります。

ソフトウェアの真価は、最終的に車両が実際に動く環境で問われます。富士スピードウェイは、日本のモータースポーツを長年にわたり支えるとともに、車両と技術が実走環境で評価され、多くの自動車メーカー、関連企業、技術者、そしてモータースポーツファンが集う日本有数の場です。

当社が長期にわたりこの場に関わらせていただくことは、モビリティに関わる方々との接点を継続的に築いていく重要な機会となります。

■ 富士スピードウェイ株式会社 からのエンドースメント

富士スピードウェイは、健全なモータースポーツ活動の振興を使命とし、自動車文化の発展に貢献してまいりました。この度、自動車の価値がソフトウェアによって進化していく時代に挑戦されている株式会社システナ様を、ゴールブリッジ、第13コーナーという、当サーキットにおいて象徴的な2つの場所のネーミングライツパートナーとしてお迎えできることを歓迎いたします。

富士スピードウェイ株式会社
代表取締役社長 酒井 良 様

富士スピードウェイ株式会社

会社名	富士スピードウェイ株式会社（Fuji Speedway, Inc.）
所在地	静岡県駿東郡小山町中日向 694
代表者	代表取締役社長 酒井 良
資本金	資本構成：富士モータースポーツフォレスト株式会社 100%
設立	1963 年 12 月 19 日
事業内容	自動車レースの企画・運営事業、イベント企画・運営事業、レンタル・プランニング事業、サーキットライセンス事業・スポーツ走行運営事業、マーケティング事業
ウェブサイト	https://www.fsw.tv/

株式会社システナ

会社名	株式会社システナ (Systema Corporation)
所在地	東京都港区海岸一丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 14F
代表者	代表取締役会長 逸見 愛親
資本金	15 億 1,375 万円 (2026 年 7 月 1 日現在)
設立	1983 年 3 月 24 日
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 2317)
事業内容	日本の基幹産業と社会インフラを支える、独立系システムインテグレーター。車載ソフトウェア開発、開発基盤、通信技術、クラウドを軸とする SDV 領域を中核事業の一つとし、自動車、通信、金融、公共など、各領域のシステムの企画・開発・評価・運用・PMO を一貫して担う。
コーポレートサイト	https://www.systema.co.jp
次世代モビリティ事業サイト	https://mobility.systema.co.jp

本件に関するお問い合わせ先：株式会社システナ 経営管理部
<https://www.systema.co.jp/contact/ir/>